

会 議 録

1 附属機関の会議の名称

令和6年度第3回水戸市社会福祉審議会 児童福祉専門分科会

2 開催日時

令和6年11月6日（水）午後3時から午後4時まで

3 開催場所

水戸市役所本庁舎3階 教育委員会室

4 出席した者の氏名

(1) 委員

青木 かを里, 稲毛 精二, 大芝 静香, 岡田 澄子, 角田 恒巳, 齊藤 恵, 佐藤 裕紀子,
竹内 玲菜, 中庭 由美子, 長浜 邦浩, 堀野 礼子, マーサー川又

(2) 執行機関

野口 奈津子, 深谷 貴美, 太田 礼子, 松本 崇, 飛田 尚亨, 菅原 功雄, 室橋 晴美,
内田 理恵, 森 敬之, 千田 庸平, 佐々木 瑛, 窪庭 友介, 長島 大祐, 徳田 恭子

5 議題及び公開・非公開の別

水戸市こども計画（素案）について（公開）

6 非公開の理由

なし

7 傍聴人の数（公開した場合に限る。）

なし

8 会議資料の名称

資料 水戸市こども計画（素案）

9 発言の内容

【事務局】

定刻になりましたので、ただいまから令和6年度第3回水戸市社会福祉審議会児童福祉専門分科会を開催いたします。

本日は御多用にもかかわらず、御出席賜りまして、誠にありがとうございます。

本日、委員16名中12名と、半数以上の委員の御出席がございますので、水戸市社会福

社議会条例第6条第2項の規定により、会議が成立したことを御報告いたします。

本審議会につきましては、水戸市附属機関の会議の公開に関する規程第3条第1項に基づき、原則公開とさせていただきます。

また、会議資料及び会議録につきましては、個人情報等の開示することができない部分を除き、公表することになっております。

次に、本日の資料 水戸市こども計画（素案）につきましては、事前に郵送させていただいておりますが、お手元にございますでしょうか。

それでは、議事に入らせていただきます。

会議の議事進行につきましては、社会福祉審議会条例第6条第1項の規定により、___会長をお願いしたいと存じます。___会長、よろしくお願いいたします。

【議長】

これより議事に入らせていただきます。

本日は、前回に引き続き、「水戸市こども計画（素案）」について御審議いただきます。審議を踏まえ、12月にパブリックコメントを実施する予定とのことですので、よろしくお願いいたします。本日の専門分科会につきましては、まず、事務局から、前回からの素案の主な変更点等について説明していただきます。

その後、今回の審議事項であります、『第4章 教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の「量の見込み」と「確保方策」』について、事務局から説明、委員の皆様から御意見・御質問をいただきたいと思っております。

そして、最後に、計画（素案）全体にわたり、委員の皆様から御意見・御質問をいただくように進めてまいりたいと考えております。

それでは、はじめに、主な変更点等について、事務局から説明をお願いします。

（事務局説明）

【議長】

次に、水戸市こども計画（素案）『第4章 教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の「量の見込み」と「確保方策」』について、事務局から説明をお願いします。

（事務局説明）

【議長】

それでは、ただいまの説明について、御質問、御意見をいただきたいと思っております。

【___委員】

資料 55 ページの年齢別人口推計について、2025年度から2029年度まで人口の合計は、若干減少していますが、0歳児の人口は増えています。どのような考え方でしょうか。

【こども政策課】

0歳児の人口が増えていることについては、合計特殊出生率が関係しております。合計特殊出生率は新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受け、急激に低下いたしました。今回の推計におきましては、新型コロナウイルス感染症による行動制限が解除され、合計特殊出生率の水準が回復していくことを見込んでおります。

【___委員】

外国人に対する支援の記載がありませんが、言葉が通じず、大変な状況の外国人の世帯もあります。外国人への支援については、どのように考えているのでしょうか。

【こども政策課】

こども計画につきましては、さまざまな施策を位置付けておりますが、日本人、外国人かを問わず、推進していくものでございます。

【議長】

人口推計についても、住民基本台帳の数値を基準とし、外国人を含むものとなっております。

【___委員】

資料 76 ページの新規事業、「親子関係形成支援事業」についてはペアレントトレーニングということでしょうか。

【子育て支援課】

御質問のとおり、ペアレントトレーニングを想定した事業となっております。

【___委員】

ペアレントトレーニングは虐待予防なども含まれていると思います。障害のあるこどもにどのように接したらよいか分からないなど、親子関係を築くための事業であると考えています。事業を実施する際に、どのような方に声を掛け、具体的にどのように取り組んでいくのか、決まっていますか。

【子育て支援課】

こども発達支援センターにおいて、類似事業を実施しているとともに、相談支援の中で、個別のペアレントトレーニングを実施し、親子のつながりの形成に向けた取組を行っておりますが、実施手法等が国の事業と一致しないため、未実施となっております。

【___委員】

とても重要なことだと思いますので、よろしく申し上げます。また、82 ページの産後ケア事業について、産婦人科においては、退院した方を再度、預かることとなるので、感染症

の課題もあり、実施していない病院もあります。また、小児科の場合は、大きなベッドを別に用意する必要も出てきます。こどもは、ショートステイなどの預かり事業を利用し、お母さんは産婦人科でケアを受けるといった組み合わせができると良いと思います。

【子育て支援課】

産後ケア事業につきましては、利用ニーズが増えている状況であり、その利用ニーズを受け入れられる体制づくりが課題となっております。___委員の御意見にありましたとおり、こどもが大きくなると産婦人科において預かることが難しいことから、ベッドの設置に係る補助を実施しております。また、牛久市において、兄、姉も一緒に預けることのできる施設があり、今年度、本市において新たに事業の委託をしたところでもあります。今後も新たな委託先の検討も進めながら、産後ケアの充実を図ってまいります。

【議長】

量の見込みと確保方策につきましては、国の方針を基に、算出されているとのことですので、『「第4章 教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の「量の見込み」と「確保方策」』の質疑につきましては、こちらで終了いたします。

次に水戸市子ども計画（素案）の全体をとおしての、御意見等をいただきたいと思います。

【___委員】

資料 74 ページの子育て世帯訪問支援事業について、民生委員として、家庭を訪問するなど、家庭の状況を把握することを心がけて活動しております。子育て世帯に関することについて、問合せがあった場合には、担当部署に支援を要請しながら、協力をしていきたいと思っています。また、ヤングケアラーについても協力、支援をしてまいりたいと思っています。

【議長】

資料 48 ページのヤングケアラー支援について、ケアマネジャーをはじめとした関係機関の職員向けの研修会を開催するとありますが、学校の先生がヤングケアラーのこどもがいたときにどこにつないだらよいのか分からないという声を聴きます。学校の先生は研修の対象となるのでしょうか。

【子育て支援課】

研修につきましては、教職員についても対象としております。昨年11月に関係機関を対象とした研修を行ったところでございます。学校が契機となるため、教育委員会と連携し、相談先の周知を図ってまいります。

【議長】

子育てだけでなく、世帯の家事等で支援が必要な場合があると思いますので、学校と進められたら良いと思います。

【___委員】

資料 31 ページの市立保育所のあり方の検討について、どのような考え方で進めていくのでしょうか。

【幼児保育課】

保育需要を見極めながら、市立保育所の役割を踏まえて、検討してまいります。

【___委員】

資料 12 ページの具体的施策「質の高い幼児教育・保育の推進」について、水戸市の幼稚園や保育所等の在籍者数のうち、市立幼稚園等は 1,068 名で 13.3%、私立幼稚園等は、6,955 名で 86.7%となっており、ほとんどの就学前のこどもたちが私立幼稚園等に在籍しています。そのため、私立の幼稚園等も巻き込んで、取組を推進していかなければ、実効性がないと考えます。水戸市では、来年度からアプローチ・スタートカリキュラムに着手することですが、私の幼稚園では、今年度、策定を進めており、吉田小、千波小、浜田小、酒門小、総合教育研究所の指導主事と協議を始めるところです。実効性のある取組とするため、市立幼稚園等だけで進めるのではなく、私立幼稚園等としっかりと連携して事業を推進してください。

【幼児保育課】

共通教育・保育カリキュラムについては、市立の幼稚園、保育所、認定こども園で同じカリキュラムで教育・保育を推進できるよう、策定したものでございますが、私立幼稚園等にも配布し、共有を図れるものでございます。

【___委員】

アプローチ・スタートカリキュラムの策定に当たっては、市立幼稚園等のみで進めるのではなく、私立幼稚園等とともに策定を進めてください。

【___委員】

水戸市は、給食費の無償化や保育所等の利用ニーズを含めた仕組みの整備は進んでいると思いますが、次の段階として、質の確保が大切であり、専門性の高い人材が求められています。具体的には、資料 49 ページの基本施策 2 「こどもの貧困対策の推進」のこどもの学習・生活支援について、他市町村と比べて、1 人のこどもにかけられる学習時間や相談支援体制が決して十分ではないと見聞きしたことがあります。また、72 ページの養育支援訪問事業について、専門的な知識を持った方が一生懸命に取り組んでくださっています。その中で、やはり人数が足りない、専門性のある方への報酬が少ないという課題もあると

感じています。質の高さの確保を大切にして進めていくと中身が伴った取組となっていくと思います。

【議長】

さまざまなプログラムがありますが、その質の確保についてはどのように考えていますか。

【子育て支援課】

養育支援訪問事業については、子育てアドバイザーとして、保育士、看護師、保健師など13名の専門職の方がおり、支援を行っております。令和5年度の実績として、訪問した実人数で19名の方が利用しており、現在は、不足なく支援ができています。対象者に合わせた専門職を派遣しており、支援の内容によっては、今後、専門職が不足することも想定されますことから、子育てアドバイザーの養成を推進してまいります。

【議長】

ボランティアなど、善意を待つような方法であると、事業がうまく回らなくなることも考えられるので、システムチェックに研修などで人材を集められるようにできると良いと思います。仕組みは整っているのですが、今後、質の確保に取り組んでいただきたいと思います。

【___委員】

まず、資料29ページの具体的施策「相談しやすい環境づくり」について、全国で10代の中絶が増えていることが問題となっています。性教育の問題もあるかと思いますが、少子化対策も含めて、望まない妊娠をしたときに、中絶せざるを得ない状況となっている人が相談できる窓口があると良いと思っています。

次に43ページの具体的施策「小児医療・周産期医療体制の確保」について、連携中枢都市圏や県など、広域的に考えていく必要があります。小児医療、周産期医療においては、開業医がそれぞれに医療を提供するという時代ではなく、集約していく必要があると思います。医師の人数も少なく、どの病院に集約するかなど、中核市として、長期的に考えていかなければならないと思っています。内科等についても、開業医が高齢となり、いつまで医療を提供できるかという話もあることから、この5年、10年で医療の現場は変わってくると思います。集約化の視点から、水戸地区であれば、水戸済生会総合病院や水戸赤十字病院、水戸協同病院といった大規模な病院の医師に対しても、水戸市として支援をしていく必要があると思います。

【子育て支援課】

望まない妊娠をした方への支援については、こども家庭センターを中心とした相談支援において、充実を図ってまいります。10代の方にとっては、市役所に相談しづらいということもあり、妊娠について、周りの方が気が付くことが多くなっています。茨城県のいばらき妊娠・子育てほっとライン、LINE相談等を周知しながら、支援につなげてまいります。

ます。

【___委員】

「すまいるママみと」における相談支援については、母子手帳が交付されてからになり、それ以前の相談は対応していないのでしょうか。

【子育て支援課】

いばらき妊娠・子育てほっとライン等で気になる方がいた場合には、本人の了承を得た上で、水戸市につなげていただくこともあります。

【議長】

10代の妊娠に気が付くのは、学校が多いのではないかと思います。学校からはそういった情報はないのですか。

【___委員】

養護教諭が間に入ることが多いと思いますが、こどもが担任の先生や校長に知られたくない、親にも知られたくないと言って、養護教諭が板挟みになっているケースが多くあります。また、先生を経由して病院に相談をつなげてくれることもありますが、相談を受けた先生がどこに相談したらよいか分からないということもあります。

【子育て支援課】

まれに学校から相談を受けることもございますが、やはり御本人の承諾がないと難しいものでございます。

【___委員】

学校においては、相談を受けた場合には、養護教諭が一人で対応できるものではなく、管理職や保護者も含めて、しっかりと対応していく必要があります。相談窓口等について、周知し、関係者が納得できるように進めていくことが重要であります。

【議長】

改訂された生徒指導提要において、妊娠した学生への対応が盛り込まれています。これまでの妊娠したら退学、休学という考えではなく、丁寧に対応することが求められていますし、女性の骨太の方針においても、そのことについて、議論されたと聞いています。

大学においては、妊娠した学生が退学するというケースが続いていました。何でも相談室を設置し、絶対に望まない中絶をさせてはいけないという考えのもと、休学して、ある程度復帰できるまでのカリキュラムをつくろうと丁寧な対応がはじまりました。少子化といいながら、せつかくの命が殺されてしまつては、元も子もないですから、リプロダクティブヘルスライツもありますので、お母さんの意思を尊重して、丁寧に対応していく必要があります。

【こども政策課】

小児医療・周産期医療体制につきましては、連携中枢都市圏の事業として広域的に取り組んでいるところでございます。県の医療計画を踏まえながら、事業に取り組んでまいります。

【議長】

数が多ければ対応した方が良く、1件でもあれば、対応しなくてはならないことがありますので、専門の方からの声は大変重要なものであります。

【___委員】

資料 68 ページの地域子育て支援拠点事業について、ぽかぽかつどいの広場について、記載がありますが、五軒小学校、常澄保健センターで実施している子育てぽかぽか広場については記載がありません。事業に含まれないのか、または、事業がなくなるのでしょうか。

【こども政策課】

こちらに記載しておりますのは、国の事業として実施している地域子育て支援拠点事業についてであり、ぽかぽかつどいの広場が対象事業となっております。五軒小学校、常澄保健センターで実施しております子育てぽかぽか広場については、別事業であるため、記載しておりませんが、大変重要なものですので、継続して事業を実施してまいります。

【___委員】

63 ページの一時預かり事業のトワイライトステイについて、利用実績 0 人が続いていると記憶しております。実施箇所数は 2 か所となっておりますが、どちらになりますか。また、どのように進めているのでしょうか。トワイライトステイはとても良い事業であると思いますが、本当に困っている人は、利用したいと言えずに困っているのではないのでしょうか。

【子育て支援課】

2 か所につきましては、市内の児童養護施設となっております。ニーズがあったときに施設の空き状況等により、預かりの可否が決まります。

【___委員】

ニーズもあまりないのでしょうか。

【子育て支援課】

ここ数年お問合せ自体がなく、平成 28 年度の利用が最後となっております。

【___委員】

問合せがなければ、ニーズがないという考え方なのでしょうか。周知はどのように行っているのですか。

【子育て支援課】

宿泊ができるという点でショートステイの方がニーズがあるのではないかと思います。周知につきましては、子育て支援総合ガイドブック等において行っているところですが、御覧になっていない方もいらっしゃる可能性もありますので、力を入れて実施してまいります。

【___委員】

計画に位置付けた全ての事業を実施することができれば、水戸市のこども・子育て支援はかなり前に進むと感じています。この計画を実施することが重要ですので、皆さんと協力しながら、進めていきたいと思えます。___委員からも御意見がありましたが、横のつながりを広げながら、こどもが幸せに暮らせるよう、計画を進めていってほしいと思えます。資料101,102ページにおいては、こども・若者からの意見の聴取について、資料44ページ等においては、こども・若者の声が記載されていることは良いことであると思えます。また、資料に該当するページが記載されていると分かりやすいと思えます。

【議長】

ほかに御意見、御質問等ございませんでしょうか。議事については以上でございます。

なお、本日の議事内容について、御不明な点などありましたら、11月11日(月)までに、事務局宛て、御連絡くださいますようお願いいたします。

本日は、円滑な会議の運営に御協力をいただきまして、ありがとうございました。事務局へお返しいたします。

【事務局】

___会長、ありがとうございました。それでは、以上をもちまして、令和6年度第3回水戸市社会福祉審議会 児童福祉専門分科会を終了させていただきます。なお、計画(素案)につきましては、本日の御意見等を踏まえ、修正等を行った後、12月にパブリックコメントを実施してまいります。

そして、令和7年1月中旬に、開催を予定しております第4回専門分科会を経て、2月に庁内で最終決定してまいります。

第4回児童福祉専門分科会につきましては、後日、開催通知を送付いたしますので、よろしく願いいたします。

本日は、長時間にわたり御審議をいただきまして、誠にありがとうございました。